

GO GO 農大

コース旅行



2022
11月号

徳島県立農林水産
総合技術支援センター
農業大学校新聞

11月2日・3日、県外の先進地等を視察し、見聞を広めるコース別校外研修に行ってきました。

農業生産技術コース

香川県・岡山県に行ってきました。1日目に訪れた香川県農業試験場では、アスパラガス、イチゴのほ場で、それぞれの栽培設備、技術について学びました。どちらも香川県の主力品目であり、品種改良、技術開発に力を入れていました。その後、香川県立農業大学校を訪問し、野菜専攻の学生からイチゴとミニトマトのほ場を案内してもらい、イチゴは「さぬき姫」のらくちん栽培システム、ミニトマトは香川農試開発の「収穫枝更新法」についてプロジェクト研究を進めていました。



2日目は、(株)岡山フルーツ農園でイチゴのほ場の見学、事業概要や経営理念について学びました。こちらの農園ではイチゴ狩りを行っているのですが、広くて遊具のある休憩スペースや、ハウスの一等地(中心部)にジャングルジムを設置し、子どもに喜んでもらうことを優先していました。

帰りには倉敷美観地区に立ち寄り、古風で美しい町並みを散策しました。



6次産業ビジネスコース

兵庫県に行ってきました。1日目に訪れたエコファームは、コープこうべの店舗から出る廃棄食品の残渣から堆肥をつくり、その堆肥を使って安全・安心な野菜を栽培する環境共生型農園に取り組んでいます。農業者や消費者が環境共生型農業を学べ、体験農園(貸農園)などがありました。学生たちは、現地において、堆肥場である

コープ土づくりセンターの食品廃棄原料の投入口・発酵槽・養生槽、圃場やハウスなどを見学しました。



生ゴミ投入口

2日目は、淡路島の農家レストラン・燦々を訪問しました。ここは、ファームを核としてのワークショップや食・滞在を通じ、自然の恵みを日々の生活に取り入れる術を学ぶ場所として、農家レストラン・滞在施設等を整備しています。担当者からは「農業体験交流人口を増やし、農業への理解を都市部の人々に浸透させていきたい。」とお話いただきました。現地ではフィールドワークでの環境保全型の圃場見学や6次産業化としてのレストラン運営について学びました。



フィールドワークほ場で説明

収穫祭

農業にとって秋といえば実りの季節ということで、農大祭の成功と、日頃栽培活動ができることに感謝する収穫祭が、11月27日に催されました。収穫祭は、新入生歓迎会のお礼の気持ちも込めて、1年次生が中心になって準備し、2年次生をもてなすが慣例となっています。

天候にも恵まれ青空の下、BBQをしました。みんなで炭火を囲み、学年の垣根を越えて親睦を図りました。



1年次生は準備に大忙し!



お肉と野菜美味しそう



いい思い出になりました

